

公開質問状への回答

渋谷区 田中まさや

1, 都心を中心とした大規模開発や超高層・大規模ビルの林立は、住民が暮らしづらくなるばかりではなく、CO2排出の増大やヒートアイランドなどにもつながり、大変問題です。超高層ビル建設の適切な規制強化、都市の成長管理が必要だと思います。

2, 「まちづくりの主人公は住民」という立場で、住民参加型への都市計画法や建築基準法の改正を積極的に国に働き掛けます。

3, 住民参加をすすめると同時に、法整備と地方分権をすすめることが必要です。現行法のもとでも地区計画なども活用して、住環境破壊の大規模開発の抑制、建物の絶対高さの制限をすすめます。

4, 歴史的な建造物は、その全体が保存されることが望ましいと思います。一部保存にまったく意味がないとは思いませんが、容積緩和と引き換えにされるようなことはあってはなりません。

5, 乱開発を規制し、景観を守ることが急がれます。住民のためのルールある町づくりをすすめる重要な手法のひとつと考えます。

6の1、指摘の通りです。基本的に住民合意なしの裁決前の変更は認めず、裁決結果を受けて事業者に対応させるようにすべきだと考えます。

6の2、民間確認検査機関には株式会社が多く、開発業者、ゼネコンなどが出資しています。建築審査会がおこなう確認検査をこえた許可の同意や不服審査の審議は、厳格な中立性が求められるものであり、改善が必要です。